

## 令和3年度 第1回村上市地域福祉計画（第2期）策定委員会 会議録

- 1 開催日時 令和3年6月25日（金）14：00～16：10
- 2 開催場所 村上市役所 本庁4階 大会議室
- 3 出席委員 貝沼 満里子、貝沼 昭子、高橋 優子、瀬賀 博美、坂上 正信、  
（敬称略） 能登谷 愛貴、本間 薫、青木 茂
- 4 欠席委員 渡部 久美、東海林 則夫、川内 信一、阿部 久美子、横堀 直樹  
（敬称略）
- 5 出席職員 福 祉 課：木村課長、石田課長補佐（福祉政策室長）、  
中山副参事（総合相談係）、伊藤主査（総合相談係）  
こども課：山田課長補佐（子育て支援室長）  
介護高齢課：山田課長補佐（介護保険室長）  
保健医療課：押切主幹（健康支援室）
- 6 地域福祉活動計画策定委員会事務局（村上市社会福祉協議会）  
総 務 課：山田課長、富樫係長  
地域福祉課：佐藤課長、忠係長
- 7 会議次第 別紙のとおり
- 8 会議経過 別紙のとおり

## 会 議 経 過

- 1 開会（14：00）
  - ・事務局より、開会挨拶と欠席連絡
- 2 市長挨拶
- 3 委嘱状の交付
- 4 村上市地域福祉計画策定委員会委員及び職員紹介
  - ・事務局より、更生保護の関係で次回から委員が1名追加される旨説明を実施
- 5 正副委員長を選出
  - ・事務局より、村上市地域福祉計画策定委員会条例の第4条第1項の規定により、委員会に委員長および副委員長各1名を置き、委員の互選によりこれを定める旨の説明を実施。
  - ・互選の方法について出席委員より事務局案の提示を求められ、次の通り提案。
    - 【委員長】新潟医療福祉大学大学院 社会福祉学部准教授 青木 茂 様
    - 【副委員長】村上・岩船地域自立支援協議会 貝沼 満里子 様
  - ・委員より拍手にて承認
- 6 正副委員長挨拶
  - ・委員長、副委員長より挨拶
- 7 諮問
  - ・市長から委員長に、諮問書を提出
  - ・市長、公務により退席
- 8 地域福祉計画・地域福祉活動計画について（講師：新潟医療福祉大学大学院 青木准教授）
  - ・青木准教授による、地域福祉計画・地域福祉活動計画についての研修（講義）を実施
- 9 議事（進行：青木委員長）
  - ・出席委員の報告（委員会条例第5条第2項の規定により、本会成立）
    - (1) 会議の公開及び会議録に関する取扱いについて（資料2）
      - ・事務局より資料2による説明
      - ・委員より、原案通り承認
    - (2) 計画策定にあたって（資料3）
      - ・事務局より資料3による説明

- ・社会福祉協議会佐藤地域福祉課長より、活動計画とヒアリング日程について説明
- ・委員より質問や意見（要旨）

委員：作業部会のヒアリングについて、各地区の社会福祉協議会職員が行うのか市職員が行うのでしょうか

佐藤課長：社会福祉協議会の職員が作業部会を作成し、4課30名ほどの職員が5地域に分かれて住民懇談会を実施します。各地区5～7名ごとのチームに分かれ、1回の懇談会には2名程度の職員が伺います。

委員長：村上市社協は、福祉サービス従事者もヒアリングに訪問することになっているが、現業に従事する職員がこういうヒアリングや計画策定に関わるということはほめられるべきこと。今回の計画策定においても非常に特徴的な部分であると思う。

委員：計画をどのように作り上げていくのかのイメージがあまりわいていなかったが、委員長の説明と、計画策定の趣旨にてSDGs（持続可能な開発目標）の説明があり、誰一人取り残さない社会をつくるための一歩としてこの計画に関わることができるのは嬉しいことだと思う。同時に責任も感じるところなので、ヒアリングなどで拾い上げた地域の声を大事にしながら計画づくりができればいいなと思っている。

委員長：地域でのヒアリングについては、可能な範囲で委員も参加し、地域の声を拾っていただくことは委員の役割の一つかなと感じている。策定委員会だけではなく、可能な範囲で作業部会のほうにも顔を出していただけるとありがたい。社会福祉協議会の事務局からも、委員へヒアリング日程等の情報提供も兼ねて行っていただけるとありがたい。

委員：感染症の影響により、お茶の間開設が減り、外へ出ない、人との関りが欠けてくる、その結果認知機能にも悪影響が出るのではないかと考えると、大変な時期ではあるがなんとか地域のお茶の間開設できないかと考えている。

今度ささえ～る隊でも、開設しているお茶の間に行き、声を拾い上げたいと計画を立てており、6月の次の日曜以降5集落を回る予定。自分も委員としてこういった団体ヒアリングの機会にヒアリングに入りたいと思うし、自団体のところへヒアリングにも来てほしいと思う。

委員長：社会福祉協議会のヒアリングの日程はこれから始まるので、調整や打診が必要の中団体からそういった申し出があるのはありがたいと思われる。細かいところは後ほど事務局と調整してはどうでしょうか。

副委員長：新型コロナウイルス感染症の影響で、団体の会議等の機会も減っている。今度役員会を行う予定だが、そのようなタイミングで日程を調整してヒア

リングに来てもらえると、広く皆の意見を拾えると思う。

これまで、家族に障害を持った人がいるため、自分の中では福祉といえれば障害者のイメージがあったが、今日の研修や話を聞いて、ひきこもりや、アルコール依存症の方、独身のまま親と暮らす人は、親を亡くした後ひとり暮らしになるのか、また、単身で暮らす人は孤独死などの危険もあるのだなと様々考え、自分の中の思いを広げていこうというきっかけになった。

委員 長:各委員はこれまでの専門分野を中心に、さらに視野を広げてもらいながら、ひとりの問題をいかに地域に問題に変えていくかという視点でこの計画をみんなで作っていきましょう。まずは、最近こんな人を見かけた、という話から始めることで構わない。そういう人が最近増えた、村上市でも今後増えていきそうだから、その問題に対する施策なり活動なり、サービスがこれから必要になるね、といった具合に盛り上がっていくといいのかなと思う。ぜひそんな視点で頑張ってくださいとよろしいかと思う。

委員:老人クラブについて、第1~4、更に地区によっても細かく分かれている。各単位クラブの会長が集まって構成するものもあり、地域の差が大きいと思われる。老人クラブだからみんな同じ、というわけではないので是非ヒアリングにも様々な老人クラブの集まりの時に参加していただき、話を聞いていただきたいと思う。

また、最近知人がフードバンクに興味を持っており、一人暮らしでは食べ物が余ることも多いので、フードバンクに寄付をしたいと話していた。自分もフードバンクの話聞いてみたいと思ったので、ヒアリングに加えてもらいたいと思う。

そのほか現場の話を是非聞かせてもらいたいと思うので、感染症対策で大変かと思うが、ヒアリングには是非参加させてもらえたらありがたい。

委員:保育現場では働き盛りの父母や子どもの送迎ができる元気な祖父母と接することが多い。社会福祉というと高齢者や障害のある方などに目が行きがちになるが、本来保育園に通う子どもたちも福祉の恩恵を受けて生きている。そのことを若い父母が意識・理解できているかといえれば十分でないかもしれないが、本当はそういう若手の力を借りなければ福祉は成り立たない。そういった福祉を普段意識しない層に、活動内容を簡単に伝えられるような方法があれば、なお一層協力的になってくれるのではないかなと思う。

都市部は増えているが地方は人口減少が著しく、新潟県は全国で2番目に減少率が高いというニュースをたまたま目にした。おそらく村上市はもっと減少率が高いのだろうな、少子高齢化が加速していくのだろうなと感じた。福祉計画というものをもっともっと身近に感じられたらもっと良くな

るかな、と思った。

委員長：計画策定の際に、若い人たちをどうプロセスに巻き込むかというのは行政や社会福祉協議会でも悩みどころ。保育園を活用するというのの一つの方法と思う。また、小中学生の子どもたちに社会学習などで福祉について伝える機会はあるが、幼児に対しては機会がない。難しくてわからないだろうという決めつけではなく、小さい子どもたちにもどうしたら伝わるかと工夫することでプロセスが何か変わっていけばいいのかなと思う。  
今こうした意見を話しながら浮かんだこともあるので、こういったことをどんどんご発言いただけるとありがたい。

委員：こういった委員会や計画冊子などがあることも初めて知る機会となった。今回は地域福祉計画と地域福祉活動計画を一体的につくるということで、普段元気な人と接しているがスポーツ指導などで小学生などと関わっていると、支援を必要とする子ども、一緒に活動を行っている。そういうことが大人になっても続いていくというか、そういう環境があるといいなと感じた。大人でも障害のある方と一緒に活動できるような機会や環境が作っていけるといいなと会議に参加して考えていた。参考にさせてもらいたいと思う。

委員長：福祉の計画は弱い立場の方に対する支援やボランティア活動などがメインになりがちだが、健康づくりは基本。取り入れるべきことと思う。他市の計画策定に携わった時も健康づくりはメインであった。ただ、あれもこれもと取り入れて、どれもできなかったとなると意味がないので、地域共生という軸を主に置きながら考えていきたいと思う。

### (3) アンケート調査（案）について（資料4）

- ・事務局より資料4による説明
- ・前回（5年前）からの浸透度合いを比較するため、前回と同じ設問に加え、今回新たに「成年後見制度」「更生保護」関係の設問を設置。また、回収率を上げるため7/15号の市報でもアンケートについての周知を行うほか、Web回答を受け付けられるように予定している
- ・事務局案の通り承認

### (4) 委員会スケジュール（案）について（資料5）

- ・事務局より資料5による説明
- ・事務局案の通り承認

1 0 その他

委員 長：ヒアリング日程が固まったら、委員に周知願いたい

委員：周知方法について、文書や電話での連絡のほか、希望する委員にはメールでの連絡をしてはどうか

- ・事務局より、希望委員にはメールでも連絡を行うため、後ほど事務局あてに送付先アドレスをお伝えいただきたい旨説明

1 1 今後の委員会日程

- ・第2回について、令和3年11月25日（木）の午後で調整
- ・第3回以降については、次回策定委員会にて協議することとした

1 2 閉会（挨拶：貝沼副委員長）